第23号(2014年4月)
n°23 – April 2014
www.fisuel.org

fisuel INFO

FISUEL NEWSLETTER
International Federation for the Safety of Electricity Users
国際電気保安連盟インフォメーション

論説

友に別れ

アディオウマ・ディオーネ氏は、本当に偉大な友でした。私が彼に時々、「アディオウマ、君が私の息子だったら」と言って笑わせたものですが、意見が食い違った時にも友情を強くすることができました。

彼は、2013年10月25日、あまりに早く逝ってしまいました。彼がしばしば口にしていた全能の神が、彼を天国に召したと私は確信しています。彼は公正で正直な人であり、信念と誠実さに満ちていました。
彼は、私たち電気保安の国際組織の創立時の理事会メンバーで、当時PROQUELECの代表はCEOのSeydina Kane氏で大変助けていただきましたが、アディオウマ・ディオーネ氏がその後任となり、私たちの組織の専門的水準の維持を続けてもらいました。
今日、PROQUELECの新CEOとなったMalick Diallo氏と大変親しくしていますが、10年間の非常に深い交友を忘れることはできません。
FISUELの創設者として、会員一同を代表して、アディオウマ氏の友人、奥様そしてお子様方に対して、私から心からのお悔やみと友情を申し上げます。

Philippe ANDRÉ
FISUEL初代会長

ニュース:SIEIN ニジェールの屋内設備の保安

目的

エネルギー石油省の部門であるSIEINの目的は、ニジェールにおける電気の需要家の保安の確保です。

具体的には、次の3項目からなります。

- 屋内電気設備のモニタリング
- 現行の規制・規格との整合性を示す証明証の発行
- 許可証の発行

組織

SIEINは、長官の下、2つの部と地域事務所があります。

- 技術検査部
- 総務会計部
- Agadez, Maradi, Tahoua, Zinderの地方事務所
- さらにTillabery, Dosso及びDiffa事務所を開設予定

主な協力機関

以下の機関から、私たちの活動を支援してもらっています。

- NIGELEC ニジェール電力会社
- AVCN 標準との適合性検査の国の機関で、国産と輸入品の両方について、品質の検査を実施しています。偽造品や不適合品による詐欺的な行為や不正競争をニジェールの経済を守ることを、目的の1つとしています。
- FISUEL 国際電気保安連盟
- LBTP コートジボワールの建築、公共事業に関する研究所
- Securel コートジボワールの電気保安認定機関で、全ての屋内電気設備の安全規制・基準の適合性をモニターする役割を担っています。

活動

SIEINの主な活動は次のとおりです。

- 屋内電気設備の保安に関する規制・基準との適合性に関する1992年2月12日付け法令第92-066/PM/MMEI/Aに基づく、電気設備の適合証明書の発行
- ニジェール国内の屋内電気設備の基準C15 100への適合性について、全国系統への接続前の確認
- 既設電気設備の検査の実施
- 電気に関する規制の改善提案
- 火災の恐れなどの品質上の欠陥のある電気器具の流通防止のための市場モニタリング
- 需要家の認識向上のための広報

ワルシャワ国際フォーラム 2013年11月28～29日

安全機器・設備： 生活の快適さと保護

ワルシャワ国際フォーラムは、SEPの会長Jerzy Barglik氏とFISUELの会長Patricia Yerfino氏によって開会されました。鍵となるメッセージは、電気保安の重要性と、検査及び設備の更新でした。
Jerzy Barglik氏から、SEPと、電気設備の新しい検査制度の創設と関係統計作成を目的とするNOBE(国立電気保安センター)に関する発表がありました。

Patricia Yerfino会長は、FISUELが直面する重要課題について述べました。

- 電気は世界において益々重要な役割を担っている一方で、多くの人が供給を受けられないでいる。
- 需要(太陽光発電、電気自動車、家庭用電化製品)は増加する一方で、設備は適切でないことも。
- 設備や製品が時代遅れとなっている。
- 不正製品が急速に増殖しており、電気の需要家を危険にしている。

電気保安は全ての人の関心事です。製造業者からの参加がありました。シュナイダー電機のMagdalena Grzybek氏とシーメンスのLukasz Przybeckiからは、AFDD(アーク故障検知装置)や遮断器の技術進歩のような新機能がどのように電気保安に貢献するか発表がありました。

2013年5月にリスボンで開催された大会で、コミュニケーション・セッションを設けることが決まりました。これは、毎回重要な会議で継続されます。
3つの発表は、次のようなものでした。

- 日本の電気保安協会の、独自性のある電気安全パンフレット、街頭広報キャンペーン、子供や学生への研修など
- フランスにおける電気保安の長い歴史として、NF品質マーク、施工業者の登録制度、不正製品との戦いと正規電気製品促進キャンペーンなど
- アルゼンチンのAPSEによる次のテーマの広報計画：政府機関の取組、子供や教師への研修、Lia Rueda議員の支援によるブエノスアイレスの電気保安の日の制定(2月20日)など

体験セッションでは、複数の国から次のような発表がありました。

- 追跡可能性、特定と認証制度が正規電気製品を判別するうえで重要なこと
- 適合性評価が、規格・基準のような枠組みを供給者が遵守していることを約束することになること
- 本ニュースレターでも紹介している、銅協会が開始した電気保安バロメーターの発表
- イタリアのProsielによる、電気設備の設計と承認に関する規則と設備の状態に関する統計の発表

ワルシャワ・フォーラムのまとめとして、次の発表と報告がありました。

- FISUELの新会員(北アイルランドのBI Electrical Servicesと、ガボンのConsuelec)の紹介
- 3つのワーキンググループ(欧州、アフリカ、アジア)からの報告

3つの報告は、この種の共同作業がFISUELの基盤を強化するかを発表するものでした。
各発表資料は、FISUELのサイトで入手可能です。
(www.fisuel.org)

電気保安バロメーターの開始

この新しいツールは、ある国の状況と電気保安に関する良い実施例とのギャップを測定するものです。施策決定者に対して、改善行動の示唆を提供します。住宅の電気設備の保安とは、火災を減らして人々の苦悩や死亡事故を減らすことを意味します。十分な保安水準を確保するためには、設備の設計、施工と点検の望ましい実施方法について十分認識し、制度化することが重要です。しかしながら、このバロメーターが示しているように、多くの国で必要な規格基準や研修制度がありません。このバロメーターは、安全性を測る13の指標を使っています。

それらは、製品規格、製造業者の遵守、点検方法、施工業者の資格、規制の枠組みなどの要求事項からなります。

このバロメーターの指標は、ある国の問題点や、良い実施例とのギャップを示すもので、地域の比較(アジア、欧州、北米、南米、アフリカ等)もできるようになっています。

指標	ウェイト
規格・基準	10
竣工点検	10
定期点検	7.5
点検報告書	5
既設設備の点検 ※)	10
点検技術者	7.5
施工技術者	5
電力供給事業者の役割	10
消費者への情報	5
規制	5
表示、認証	5
製造事業者の規則	5
市場のモニタリング	15

本バロメーターでは、世界の住宅の電気設備の保安に関する精度を高めるため、あなたのような専門家の協力を必要としています。あなたの専門家としての意見の提供をお願いします。 http://safetybarometer.org/

国	保安水準	国	保安水準	国	保安水準
アルゼンチン	55%	ハンガリー	53%	ノルウェー	71%
豪州	43%	インド	25%	ペルー	50%
ベルギー	60%	インドネシア	30%	ポーランド	55%
ベナン	44%	アイルランド	56%	ポルトガル	53%
ブラジル	44%	イタリア	28%	米国	53%
チリ	53%	日本	80%	セネガル	44%
中国	26%	韓国	55%	シンガポール	35%
コロンビア	65%	マリ	44%	スペイン	50%
コートジボワール	49%	マレーシア	23%	スウェーデン	58%
チェコ	56%	メキシコ	46%	スイス	43%
デンマーク	20%	モロッコ	10%	台湾	38%
フランス	75%	オランダ	10%	タイ	10%
ドイツ	60%	ニュージーランド	10%	英国	86%
ギリシャ	53%	ナイジェリア	39%	ベトナム	10%

※）既設設備の点検

世界の人口の75%以上が築40年の住宅に居住していますが、それらの電気設備が不適合で危険な状態にあります。目標は、売買又は居住者の変更の際、集合住宅の共用部、建物の共用部の接地について、既設電気設備の義務的な点検の実施です。その点検は、住宅の屋内電気設備の適合性を証明するものでなければなりません。

国境なき電気技士
(Electricians without borders)
全ての人にエネルギーを提供

世界銀行の最新のデータによれば、2014年現在、約15億人の人々が、電気を安定的・恒常的に利用できないでいます。その多くの人は、アジアとアフリカのサブ・サハラ地域の20の途上国の人々で、80%の人が僻地に居住しています。材木、石油ランプや炭は、費用がかかり、しばしば健康のリスクを抱えていますが、いまだに広く利用されています。

エネルギー貧困との闘い...

30の村のためにグリーンエネルギー
ラオス人民民主共和国

エネルギーアクセスプロジェクトを通じて世界の貧困を削減することに1986年から取り組んできた「国境のない電気技士」のため働いている１０００人のボランティアーそれらのほとんどの専門家はフランス電力業界から－は、世界で最も恵まれない地域社会の発展は、安全と電力供給への長期的なアクセスに依存すると全ての人が考えている。

... 開発のテコとしてエネルギーへのアクセスを

「国境のない電気技士」は人的･経済的な開発プロセスの非常に重要な部分である孤立した場所や地域のエネルギー供給へのアクセスのため働いている。

赤ちゃんが夜でも安全に生まれる事が出来ることを確保したり、冷蔵されたワクチンを子供たちに提供したり、宿題が出来るよう照明したり、大人には、市場園芸、バッテリーレンタル、携帯電話の充電などの事業活動の展開を可能にしたり、被災者が明るい難民キャンプで安全に動き回ることを保証するなど、これらの目標はプロジェクトの動機です。

124のプロジェクト、多くはアフリカで

2013年末までの124のプロジェクトの多くはアフリカで実施され、約40ケ国になります。84%が「国境のない電気技士」の中核事業である開発事業で、その他は緊急活動と専門家の調査です。

ほとんどの活動はアフリカです。昨年、セネガルのCasamance地区の人口2000人のKouba村において、診療所、妊娠クリニック、学校と教員の住宅を太陽電池で明かりを付けました。その持続のため、「国境のない電気技士」は常に電気の危険に関する住民への情報提供と設備の保守サービスの研修も併せて行っています。

各種協力

「国境のない電気技士」の活動は、公的・民間、男性・女性、多くの人々の協力によって支えられています。その一部は資金提供を、あるいは従業員が活動を支援又は参加してくれています。また、電化促進のために顧客や取引先に呼びかけたりしてくれています。「国境のない電気技士」では、それぞれのケースにおいて、要望に応じた適切な手段を提案します。

Mafraq, lighting for the camp at Za'atari, Jordan.

「国境のない電気技士」との各協力は貴重で、それは活動の受益者を増やすことになるからです。

このNGOの活動に参加し、又は支援し、あるいは協力のために詳しく知りたい場合 は、www.electriciens-sans-frontieres.orgを見て、FacebookやTwitterでフォローしてください。

「国境のない電気技士」は、認可を受けた公益団体で、フランスの募金許可委員会の認定も受けています。

日程

- **2014年3月10日(月), 11日(火)**
  - パリ　理事会
- **2014年5月19日(月)**
  - セネガル・ダカールで、アジア、アフリカ、欧州のワーキンググループ会合
- **2014年5月20日(火), 21日(水)**
  - セネガル・ダカールで、理事会及び年次大会

fisuel

21, rue Ampère 75017 PARIS
Tel. 33 (0) 1 56 79 50 10
Fax. 33 (0) 1 56 79 50 15
e-mail : fisuel@fisuel.org

日本語訳文責:電気保安協会全国連絡会